

これまでの「保健・福祉部会」における主な意見

(平成26年第1回～平成27年第2回)

<保健活動・健康推進>

- ・感染症予防について、地域の方や区の保健師が幼稚園や学校などに出向いて注意を促してくれている。歌なども作って充実しているので、これからも進めてほしい。
- ・健康寿命の延伸につなげるためには、毎日の食生活が大事だと思う。日常の予防も兼ねて、どのような食事がどういう病気にはいいのか、というような食育のテーマを講演内容に取り入れて行けばいい。
- ・高齢者になると食生活で何を食べたらいいのか、なかなか献立を考えることができない。区や地域で食育に詳しい方が1週間、1カ月の献立表の参考を作ってもらえればありがたい。
- ・認知症については、区民の関心が高いと思う。生活習慣病は、認知症につながるリスクが高いと言われているので、生活習慣の改善を切り口にすれば、認知症予防の良い講演会ができる。
- ・話を聞くだけでは、なかなか人が集まらないと思う。例えば体を動かすとか、みんなで楽しめるイベント性を持たせる方が良い。
- ・人が多く集まれば、「がん検診の受診をしてください」という呼びかけも行えるし、様々なアナウンスができる。

<地域福祉>

- ・「おまもりネット」は、非常に大事なことであり、この制度を充実・普及することは有意義なことだと思う。
- ・有償ボランティアにすごく期待をしているし、推進してほしいと思う。
- ・有償ボランティアは、何件目標にしているとかだけではなく、需要と供給のバランスを考える必要がある。